

台風など災害の対応
について



齋藤 光浩 議員

一般質問



大豆生田 春美 議員

高齢者ドライバー
対策について

質問…災害ごみの仮置き場設置

の考え方について伺います。

答弁…災害廃棄物は、広域クリーンセンター大田原での処理を第一に進めていくこととなりますが、それには構成市町である那須町とともに連携、調整し進めていく必要があります。このため、本市及び那須町並びに広域クリーンセンター大田原を運営している那須地区広域行政事

務組合の3者で、令和2年度か

ら災害廃棄物処理計画を策定する予定であり、災害の規模による災害廃棄物の発生量も想定し、処理方法や仮置き場等についても定めていくこととなります。仮置き場の設置の考え方については、災害の規模など、一定の基準等によるものではなく、それぞれの自治体が想定する災害や災害の発生状況等を踏まえ、

設置の判断をその都度行うこと

となります。本市における災害廃棄物処理計画は未策定ですので、確定している仮置き場は現時点ではありませんが、今後の自然災害に備え、災害廃棄物の発生量を十分踏まえながら、必要な面積が確保できる市有地を仮置き場として、大田原、湯津上、黒羽の各地区に1〜2カ所程度を選定していく考えです。

質問…踏み間違い防止のための

安全支援装置への補助をする考えはあるかを伺います。

答弁…全国的に、高齢者ドライバーによるアクセルの踏み間違いに起因する交通事故が続発しています。現在そのような事故を防止するための安全運転支援装置が市販されており、アクセルの踏み間違い防止や自動ブレーキによって交通事故の防止や

事故被害の軽減に効果があるものと承知しています。同装置への補助につきましては、東京都

等の一部自治体では既に補助制度を設けている所であり、東京都では70歳以上の方を対象として、安全運転支援装置の購入、設置費用の9割、上限10万円の補助を行っています。栃木県内では、日光市において70歳以上の方が新規に安全運転支援装置

付きの自動車を購入した場合に、

1台5万円を補助しています。報道によれば、現在、国において高齢者を対象とした安全運転支援装置の購入に関する補助制度の創設が検討されている所です。本市といたしましても、今後、国による施策の動向に注視をしつつ、他の自治体における制度の導入状況を調査研究してまいります。